

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06206
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学 生命環境学部	開講場所	広島キャンパス
2. 科目名	資源・エネルギーと循環型社会		
	学問分野	番 号	43 名 称 環境
3. 担当教員	原田 浩幸 環境科学科 教授 大竹 才人 環境科学科 教授		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 29 年 7 月 29 日 (土)		
	9 時 00 分 ~ 10 時 30 分 (原田) 10 時 40 分 ~ 12 時 10 分 (大竹) (90 分×2 回)		
5. 募集定員	40 人		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>地球温暖化の顕在化や世界的な資源・エネルギー需給のひっ迫が懸念され、循環型社会への転換、低炭素社会の構築が求められており、従来の廃棄物を排除・処理する一過性のシステムから、集めた物質等を資源・エネルギーとして活用・再生する循環型システムへと転換することが必要な時代となっている。本講座では資源とエネルギーをキーワードとして環境マインドの育成を目標とする。</p> <p>1. 循環型社会と資源 (原田浩幸) 循環型社会のアプローチとして廃棄物を中心に述べる。廃棄物の問題の現状、減量化のための法的制度や技術面やエコタウン構想について述べる。</p> <p>2. 再生可能エネルギーとは (大竹才人) エネルギー問題の解決に向けて、再生可能エネルギーとよばれる自然エネルギーの利用が注目をされています。しかし現状では、その普及があまり進んでいないのが現状です。その原因は、発電効率が低いことや、自然変動の影響を大きく受けることから安定的なエネルギー供給が難しいこと、更には発電にかかるコストが非常に高いなどの要因が挙げられています。これらの解決に向けて、より一層の研究開発によって発電効率の向上を目指すことや、効率的な送電システムの確立などが必要となります。ここでは、再生可能エネルギーの普及に向けた技術的な問題点とその解決への取り組みを紹介します。</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 特になし		
9. 開講条件※1 あり	① 最少開講人数 (3 人) 定員超過の不許可は選考により決定		
	② 不許可・不開講通知日 6 月末 (7 月 14 日(金)以前の開講科目は 3 月末まで/7 月 15 日(土)以降の開講科目は 6 月末まで)		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 特になし		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/access.html		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。